

こころんねっど

第44号

2021年2月発行



マスコットキャラクター「こころん」

「はつらつクラブ」のコロナ禍でのボランティア活動

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、さまざまな行事や活動が中止・縮小になる中、「はつらつクラブ」も会場での事業実施を休止した期間がありました。外出を控え、家にいる時間が長くなった参加者さんたちに、コロナ禍でも出来るボランティア活動と呼びかけました。



聖霊病院



がんセンター

がん患者さんのための“毛糸の帽子”、誰かの役に立ちたいとの思いから集まった手編みの帽子は150個以上。「手作りケア帽子寄付ボランティア団体 スマイル中部支部」を通じて、聖霊病院、がんセンター等に届けることができました。



区内施設への手作りマスクや食糧品の寄付



つなぐハウス



障害者サポートセンター舞夢

区内公園の清掃活動



吹上公園にて

令和2年7月豪雨による被害を受けた熊本県へのタオルや下着等の寄付などボランティア活動を通じて、はつらつクラブのモットーである、「介護予防」や「仲間づくり」を行うことができました。

はつらつクラブ(高齢者はつらつ長寿推進事業)は65歳以上の方を対象に毎週、健康体操・レクリエーション・音楽療法などを楽しみながら「介護予防」についての理解を深めるとともに、「仲間づくりをすすめ」、地域においていきいきとした生活が過ごすことができるようにする活動です。

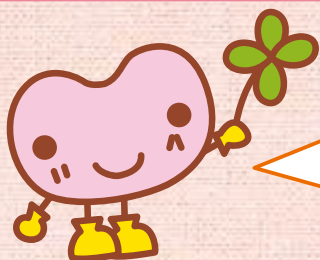
寄付のお礼

(2020年12月末現在)

次の方々から本会へご寄付いただきました。寄付金は昭和区の地域福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- 明治安田生命 名古屋東支社「私の地元応援募金」様
- 安藤 昭彦 様
- 匿名1件 (順不同)





学区社会福祉協議会は、全ての住民が安心して暮らすことができる福祉のまちを、住民が主体となって地域総ぐるみで推進することを目的とした団体で小学校区を単位として組織されています。

このコーナーでは、昭和区内の学区社会福祉協議会の活動を順番にご紹介していきます。

広路学区

コロナ禍でも安心して集まれる居場所づくり

広路サロン



アコーディオンの演奏



ハンドベル演奏などクリスマス会

広路カフェ



広路学区社会福祉協議会では広路コミュニティセンターにて「広路サロン(原則第3月曜日13:30～)」と「広路カフェ(原則第1水曜日10:00～)」の2つの集いの場を運営しています。

広路サロンではアコーディオン演奏やヨガなど月替わりのプログラムを楽しんだ後に参加者同士のおしゃべりで交流しています。

午前中に行っている広路カフェは、その名のとおり喫茶店のモーニングのイメージです。参加費100円でコーヒー、トースト、ゆで卵がついています。ここはおしゃべりの場として、三々五々集った方々が居合わせた方と仲良くなり、楽しい話しの輪が広がっていました。他県から移り住んでこられた方はこのサロン&カフェに来られることで、「少しずつ地域のつながりが感じられるようになった」と喜ばれていました。

4～5月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が出された時には、サロン&カフェをお休みされていましたが、再開後にはコロナ前と同程度の参加者があり、皆さん再開を楽しみにされていたことがうかがえます。現在は感染症予防のため、入室前の検温や手指消毒、室内換気、アクリル板のパーテーションの活用など、できる限りの対策を取りながら開催しています。コロナ禍でもサロンを続けていることから、「学区内で集いの場を大切にすることで、皆さんが少しでも元気に過ごせるようにしていきたい」という主催者の強い思いが感じられました。

学区では、サロン&カフェの開催に合わせてちょっとした困りごとの相談をはじめており、参加された方から少しずつですが相談が寄せられています。



村雲学区 コロナ禍でもできることを。

村雲学区社会福祉協議会では、今年度はコロナウイルス感染症のために多くの行事等が中止になりましたが、できることを継続したり、新たに取り組みを始めるなど試行錯誤しながら活動を実施しています。

■学区相談窓口※の継続

従来学区相談窓口では、村雲会館に開設した相談窓口と携帯電話で相談受付を実施してきました。新型コロナウイルス感染症が広がり始めたため、相談窓口の運営について検討した際にも、コロナ禍でも感染状況に関わらず、ちょっとした生活上の困りごとはあるはずという思いから、窓口専用の携帯を持ち帰り、自宅待機をしながら相談窓口を継続しました。

相談件数は前年より減少傾向にありますますが、現在も村雲学区内のちょっとした困りごとに対応しています。12月末時点は、会館での相談も受け付けています。



※学区相談窓口は地域支えあい事業の相談窓口。地域支えあい事業とは、学区住民の生活の中のちょっとした困りごとを学区住民のボランティアさんが相談を受け付けて、困りごとの解決に向けてお手伝いします。

村雲学区 相談窓口

日 時	毎週水・木曜日 午前9時～12時
場 所	村雲会館(昭和区村雲町15-7)
連絡先	080-9494-9683

こんなご相談いただきました

- | | | |
|------------|---------------|--------------|
| 今年度
対応例 | ●草取り | ●小修繕(網戸張替え等) |
| | ●粗大ゴミや置物の搬出 等 | |

■子育て支援団体とコラボしたフードパントリー (令和2年8月6日に実施済)

昭和区内で活動している子育て支援団体(つなぐ子ども未来)が実施しているフードパントリー(食料支援)を村雲学区内で実施しました。フードパントリーは、コロナ禍において様々な影響を受けた世帯向けに支援を届けたいという趣旨で実施していましたが、ご近所に住む高齢者世帯などにも食料を届けに行くことで、状況確認や見守り活動にもつなげることができました。

コロナ禍においてなかなか外出ができない状況が続き、どう過ごされているかなと気になっていましたが、対面でお話ができよい機会になりました。



コロナ禍において学区の様々な行事が中止となり、また民生委員による訪問活動の自粛期間が長期にわたって続いたため、地域の高齢者の方を心配する声があがりました。そのことから新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いた時期には、民生委員が関わりをもつ高齢者の方々へお菓子を届けに伺ったり、また既存の取り組みであった小学生から高齢者へのお便り(ハガキ)を届けたり、できることをやりながら学区社協の活動を続けています。



白金児童館から

～もう一つの「こどものまち」～

今年の「こどものまち・しらかね」は、人との距離を確保できるような取り組みをし、規模を縮小して実施しました(12月12日(土)、13日(日))。当日までに小学校4年生以上の子どもと大学生による「子ども実行委員会」で、話し合いながら企画を立てました。

今回は、その実行委員会でのできごとをご紹介します。

児童館に遊びに来ていた小学校2年生の子どもが、実行委員会を見学してました。会が終わるころ、その子は「審査員になるから紙をちょうだい」と言い、渡した紙に3つのことを書きました。

- マスクをしているので、もうちょっとはきはきという。
- (ホワイトボードに書くとき)かんじをひらがなでかく。
- しせいをよくする。

小学校2年生から実行委員会を進行していた大学生に対してのアドバイスでした。相手の立場になって伝えることの大切さに改めて気づかせてもらいました。

その日の午後、その子は2人の友達とともに話をしながら大きな紙に何かを描きはじめました。3時間ほどで描きあげた時、声をかけてくれました。3人で描いた絵には「にぎやかなまち。」というタイトルがつけられていました。

午前中の実行委員会がいい刺激となり、その刺激が周りの子たちに伝播したのでしょうか。

実行委員会の様子を見ているだけで退屈していないかなと心配でしたが、子どもは大人が考えている以上のことを感じ、それに刺激を受けて成長しているのだとあらためて感じました。

子どもの主体性を育む「こどものまち事業」から、もう1つの「小さなこどものまち」を体感しました。



3人で描いた絵「にぎやかなまち。」

児童館に令和3年3月末まで展示しています。

こごん クイズ

幼稚園の遠足で、先生が園児におやつのチョコレートを配りました。園児一人に8個ずつ配ると7個足りません。又、園児一人に7個ずつ配ると8個余ります。

Q. この遠足に参加している園児の人数と先生の持ってきたチョコレートの数を教えてください。

ご応募いただいた方の中から、抽選で3名の方に図書券を差し上げます。ハガキかFAXにクイズの答え、氏名、住所、今月号のご感想をご記入の上、昭和区社会福祉協議会までお送りください。締切は令和3年2月26日必着。当選者の発表は図書券の発送をもってかえさせていただきます。



ふれあい給食サービス事業とは？

赤い羽根共同募金・賛助会費の一部を財源として事業をおこなっています。

高齢者などのふれあいや孤立感の解消を目的に、学区社会福祉協議会や民生委員を中心としたボランティア団体が食事を通じてつながりづくりを行う活動です。

事業の対象者や実施回数や実施方法(会食や配食)は地域の実情に応じて学区ごとに設定されています。

コロナ禍におけるふれあい給食サービス事業は？



高齢者の方々が集う食事会は感染症予防の観点から実施にあたって特に注意が必要な状況にあります。そのため、今年度は配食(お弁当などをお届けする)活動に切り替えて、事業を実施している学区も多くあります。配食は直接食事をご自宅にお届けすることでお一人暮らしの方などの見守りやその際の会話から困りごとの相談などにもつながっています。

また、リスクの高い会食は行わずに工作などの機会を通じて地域の方々と顔を合わせ、お弁当などを持ち帰っていただくというように工夫しながら実施している学区もあります。

このように、それぞれの団体では、ふれあいの機会を持てるよう、様々な方法を模索しながら取り組んでいます。



一人暮らしの高齢者にお弁当を届ける様子



給食会の再開に向けて感染対策に徹底した調理・配膳のシミュレーションを行う様子

ボランティアさんの声

滝川学区 八千代会 鈴木会長



本年度は新しいやり方を試みていて、短時間の手芸などを楽しんだ後、食事は持ち帰っていただくなどしています。感染に注意しながら、少しでもつながりを絶やさない工夫を試行錯誤しながら考えています。来年度からもそういったスタイルを継続していきたいと思います。

広路学区 ひろじ給食会 吉田会長



コロナ禍の中、活動をしないということは簡単だけれど、やり方次第でできることはある。感染症対策をしながら活動できるよう研修をおこなって不安要素をなくすよう努めています。

参加者も民生委員も食を介して豊かな気持ちになれるよう、気持ちのこもった手作りのお弁当にこだわって今やることを続けていきたいと思っています。

川原学区 かわはら会 堀井会長



お弁当をお配りしながら、一人ひとりに声掛けをしています。コロナ禍において外出しづらい日々が続いている状況だからこそ身近な地域での関係づくりや見守っていくことが大切なのだと感じます。

お知らせコーナー

昭区和福祉協議会の研修室やボランティア室にオンラインによる活動にご利用いただけるWi-Fiを設置しました。貸室の予約やお問い合わせは下記までお願いします。



子育て家庭向けのオンライン行事の様子(施設や家庭向けに配信)



編集委員からの一言

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い自粛。早く解除され、活動の再開が待ち遠しいです。K・B
- コロナ禍でも、地域で色々活動しています。声を挙げて参加してください。M・H
- 皆様のコロナ禍の対峙は素晴らしいです。ポストコロナ後、元気な姿でより一層絆を深めましょう。K・F



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

令和2年度は、柳城短期大学とコラボレーションしてオリジナルエコバッグを作成しました。

柳城短期大学の長谷中ゼミは、ゼミ生と地域との関わりを積極的に取り入れており、月1回の子育てサロン「御器所チューリップの会」や地域子育て支援拠点「恵方の家」にも参加し、手遊びなど行なっています。そういった関わりから、「ふくしのイメージを含んだ、もらった人が使いたくなるエコバッグ」をデザインしていただきました。



エコバッグのデザインをした

柳城短期大学2年
肥田 このえさん



Q. どんな発想からデザインが浮かんだか?

A. 持ち歩きたくなくなるような⇒見ると元気が出る⇒元気にしてくれるもの⇒人や自然、音をイメージしていたらそれらが丸いイメージになりました。

ボランティア保険加入のご案内

万が一の事故等に備えてご加入をお勧めします。



ボランティア活動保険

ボランティア個人・グループ等で年間を通して活動する方

ボランティア行事用保険

行事の主催者である団体・グループ等で数日間の行事を主催する方

なお、保険の内容の詳細は愛知県社会福祉協議会HPをご覧ください。

<http://www.aichi-fukushi.or.jp/vol/index.html>

申込窓口

昭区和福祉協議会
(印鑑をご持参ください)

●受付/平日9:00~17:00

●本号に掲載した各活動は新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めて行っております。写真の撮影時期や状況により、マスク等の着用がないものも含まれておりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。また、活動内容等は、新型コロナウイルス感染症の影響で変更・中止となる場合があります。

社会福祉法人名古屋市昭区和福祉協議会

ホームページ

昭区和福祉協議会 ホームページQRコード➡
<https://www.showaku-shakyo.jp/>



facebook
twitter

「もばいるこころん」(昭区和情報)
昭区和のイベントや子育ての情報を掲載しています。

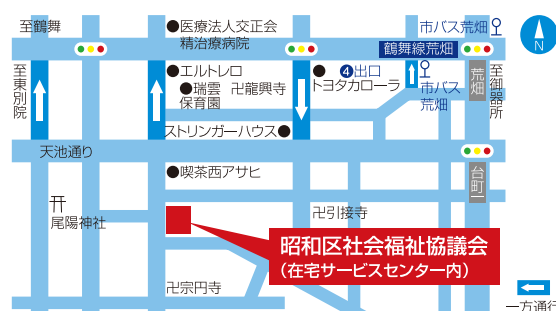
目の不自由な方へ、この情報誌「こころん」とを録音したCD・点字版の貸し出しを行っています。(無料)

編集・発行

社会福祉法人名古屋市昭区和福祉協議会

〒466-0051 名古屋市昭区和御器所三丁目18-1

電話: 884-5511 FAX: 883-2231 E-mail: fukushi@showaku-shakyo.jp



交通のご案内

地下鉄: 鶴舞線「荒畑」駅4番出口から徒歩5分

市バス: 栄20系統「荒畑」下車

金山26系統・昭和巡回系統「御器所四丁目」下車